

IT 機器購入について

2022/1/8 IT 推進委

港南区の地域活動 ICT 導入補助金を取得したことに伴い、必要機器の追加購入に関する提案です。

1 港南区地域活動 ICT 導入補助金

上記地域活動 ICT 導入補助金を申請し、12 月に 10 万円受領

2 補助金の使用予定

2.1 既使用分

- タブレット端末 : 5 台 : 70,598 円

2.2 追加購入予定

- 追加タブレット Android9.0 8 インチ LTE 12,950 円 2 台 25,900 円
現用 5 台使用中で、可搬性の高い 8 インチを追加
(但し SIM カードは除く)

- マイクスピーカー : 1 式 (マイクスピーカー×2+ケーブル) 25,297 円
1 階会議室での web 会議使用でマイク 2 台

- アンケートツール (Modal Survey) 1 式 41 ドル 約 4750 円
現状 Google Form では結果のグラフ表示で、
文章が長いと切れてしまうので、有料版使用

合計約 56,000 円

総合計約 127,000 円

以上

IT 推進委員会の運用形態について

2022/1/8 IT 推進委

12 月部長会でペンディングとなっていた題記課題に関する検討結果を示します。

1 候補案

- 案 1：初期提案（自治会直属の任意団体新設）
 - 自治会部長会・役員会・総会で認可した団体で、委員会構成員は自治会役員以外も可

- 案 2：自由な任意団体
 - 自治会としては何も規定せず、委員会も独立の組織として自由に発足させる。
自治会は、予算で助成金を支給するだけ

- 案 3：自治会の特別委員会
 - 自治会規約
第 6 条「本会は前条の事業を推進するために次に掲げる専門部を置く。
(1)総務部、(2)環境福祉部、(3)防災防犯道交部・・・(8)財務部
2.本会は、前項の専門部のほか本会の目的を達成するために必要な組織として特別委員会を置くことができる。

- 案 4：自治会連携の任意団体
 - 案 2 同様、自治会としては何も規定せず、委員会は案 1 相当の独立の組織として、自由に発足させる。委員会の依頼で自治会役員が参加し、自治会から助成金を出す。

2 比較・評価

- 1) 案 1 と案 3 は自治会の縛りが大きい
 - 案 1 では、総会認可、監督責任が自治会に生じる
 - 案 3 では、特別委員会は専門部と同格なので、委員長は自治会役員の縛りが生じる。
但し、委員会の委員は、明記はないが自治会役員以外の就任も可能。

- 2) 案 2 では、連携が必須ではあるが、明文化されていないため、色々なリスクが残るが、案 4 だと、委員会側で連携がある程度担保できる。

- 3) 以上から、
案 4 > 案 2 > 案 1 > 案 3

以上

「ひぎり・いきいき幸せプラン」アンケートのネット実施の提案

2022/1/8 IT 推進委

ひぎり連合自治会の題記アンケートが全戸配布で実施されましたが、これをネットでも実施してはどうかという提案です。

3 概要

3.1 目的

ネットアンケートと全戸配布アンケートの違いを今回のアンケートで行い、理論と現実の差異を分析し、今後のアンケートでの結果の評価・分析のノウハウを蓄積したい。

例：日限山自治会の会員数：1000 世帯とすると、40 人の回答で、許容誤差：10%、信頼度：80%
現実には、設問内容、質問文の表現等により、現実との誤差は生じる。

3.2 実施案

2 月回覧で、HP メーリングリストを使ったアンケート実施
回答期間：2 月 5 日(土)～2 月 27 日(日) 予定

3.3 アンケート内容

(1) 基本

「わが街ひぎり・いきいき幸せプラン Ver4」と同一質問・同一内容のアンケート

(2) 応用としての、独自質問項目の追加

- ・ 過去ラジオ体操等に参加できた・できなかった要因は何ですか
①参加できた、②仕事の都合で参加不可、③忘れて参加せず、④参加場所等不明
- ・ 過去健康講座に参加しましたか
①参加し満足、②相談できてよかった、③興味がない
- ・ ひぎり地区は子どもの育てやすい街ではないと思う要因は何ですか
①子供の集まる場所がない、②イベントがない、③その他

下記に連合のアンケート項目がありますので、追加要望があれば、1 月 30 日までにメールでご提案をお願いします。

<https://higiriyama.org/?p=767>

以上

「自治会活性化」アンケートの結果報告【概要版】

2022/1/8 IT 推進委

12月12日に実施したアンケート結果の概要報告を以下に報告します。

1 概要

- ・ 実施日：2021年12月12日～12月26日
- ・ 配布数：176名、回答数：47名、回答率：27%

2 結果概要

2.1 あなたについて

- ・ 60才以上が約6割を占め、半分がブロック長以上を経験している。

2.2 今までの諸活動の継続について

- ・ 継続が50%以上の項目は、一斉清掃、防犯パトロール、新入学児童お祝い品
- ・ 中止がトップ支持の項目は、敬老お祝い品（44%）で、個別意見で100才の時だけの1回が良い
- ・ どちらでもよいがトップの項目は、秋のイベント、環境講演会、交通安全教室

2.3 今後の新しい自治会活動の希望

- ・ 今後の自治会のあり方としては、子どもが参加する行事の希望(44%)と、環境・防災等必須活動に限定する希望(44%)が最も多かった。
- ・ インターネット関連の新サービスでは、中古品再利用の紹介(49%)、地域での社会問題の勉強会(44%)が多かった

2.4 自治会役員会・部長会のあり方

- ・ 自治会業務の簡素化(67%)や、役員選出規定変更による若年役員の増加(33%)が多かった。
- ・ 定年制については必要(36%) / 不要(34%)と拮抗し、定年年齢も75才が34%で議論の余地がある。

2.5 役員会の進め方

- ・ 役員活性化策として、大きなイベントの業者発注(53%)、定例会の中止とメール化(42%)の支持が多く、役員業務の負担と思う項目と相関している。また役員会は今後もメール承認で良いとする意見が77%に達した。

以上